

畜舎環境改善で牛のストレス対策を



愛甲 信雄 議員
動画視聴

問 畜舎では、暑熱のストレス対策が喫緊の課題である。気化熱を利用して温度を下げる効果や、防疫対策にも期待がもてるミストと送風機の導入補助はできないか。



整備された畜舎

答 大規模な和牛農家では、国県補助事業を活用して送風機や細霧装置を設置し、対策をしている事例もある。一方、国県補助事業の採択条件を満たさない設備や機械もあり、支援を必要とする中規模の経営体も存在する

ことから、今後、市単独事業の内容について見直し等を行い、畜舎の環境改善等に取り組んでいく。

肥薩線の利用促進を

問 J Rダイヤ改正から半年が経過した。市として利用促進の具体策はあるか。

答 10月末から11月上旬に「きりしまノーマイカーウィーク」の実施を予定している。また、「肥薩線利用促進・魅力発信協議会」では、フォトコンテストを実施する予定である。今後は、観光客の鉄道利用促進も考える必要がある。鹿児島空港を利用する外国人観光客を鉄道沿線に誘導できるよう、官民一体となって利用促進を進めていく。

その他の質問

・横川警察署廃止について

大多数の市民の声を市政反映に



松枝 正浩 議員
動画視聴

問 大多数の声なき声やどのように吸い上げていくことを考えているか。

答 大多数の声なき声を集約することは必要であり、効果的な仕組みづくりについて、検討していきたい。すぐに実行できることとして、新鮮な感性を持つ採用1、2年の職員や各地域において最前線で市民と接している総合支所職員との意見交換を行った。まずは、市民と身近な市職員との対話から始めたところである。

事業計画による国分市街地の活性化推進を

問 国分を中心市街地活

台明寺の青葉竹再び天皇に献上を



阿多 己清 議員
動画視聴

問 台明寺に自生する青葉の竹は、市の指定文化財である。その昔、青葉竹を笛用の竹として天皇に献上したと言われていて。現在地域内で、天皇への再献上の動きがある。可能性としてはどう思うか。

答 青葉の竹は、天智天皇に献上のほか、国の重要文化財「台明寺文書」にも朝廷への貢納を命じたと記されているなど、当時は貴重なものであった。



青葉の竹

た。天皇への献上については、現在の実例等を研究するとともに、まずは市民全体で竹の価値を共有できるように啓発に努めたい。

隼人町内山田の豊丸橋整備の早期着工を

問 隼人町内山田の豊丸橋整備については、住民説明会も実施された。その後の進捗状況はどうなっているか。

答 豊丸橋は、幅員が大変狭く、橋の新設と取付道路の整備を計画している。平成29年8月に事業説明会を開催した。今年度中に詳細設計を行い、平成31年度から用地取得を進め、早期工事に努めたい。

その他の質問

・本市小中学生の学力調査について

若者が働きたくなる環境づくりを



宮田 竜二 議員
動画視聴

問 霧島市の人口を増やす「霧島市ふるさと創生総合戦略」の施策に関して、都城市のようなインターンシップ助成制度を取り入れ、大学生が霧島市内の企業に就職することを促進する施策はできないか。

答 市外に就職・転出する流れを変え、就職率を向上させることが重要であり、本市がもつ強みを生かし、現行の取り組みを充実強化していきたい。

子ども・子育て支援事業について

問 2019年10月から

不登校児支援のためにスクールソーシャルワーカー(SSW)の増員を



山口 仁美 議員
動画視聴

問 平成28年成立の「教育機会確保法」により、不登校児支援は学校復帰が前提ではなくなった。子どもたちの自立を、学校や地域で連携して支援していくために、スクールソーシャルワーカー(SSW)を増員すべきではないか。

答 本市では、不登校の長期化を防ぐために、子どもたちそれぞれに応じた支援に取り組んでいく。不登校の子どもたちへの関わりとして一番大切なのは、学童期だけでなく、将来にわたって社会に復帰できるか、自立できるかということである。

あると認識しており、法の改正に伴いさまざまな選択肢を認識し、検討しているところである。SSWについては、今年度2人雇用し、文科省事業でさらに2人を増員し4人体制で対応している。文科省事業は平成31年度で終了するため、増加傾向にある事案への対応が厳しくなることが予想される。多様化する今後の課題に対応していくためにも、SSWの予算確保に努力したい。

その他の質問

・義務教育の教材整備状況と管理へのクラウド活用について
・放課後児童クラブの育成支援の質の向上について
・住民主体のまちづくりについて

災害時あらゆる視点での対応を



鈴木 てるみ 議員
動画視聴

問 災害時は、避難所の快適さが求められる。女性の視点も重要と考えるが、市の避難所運営マニュアルには考慮されているか。

答 熊本地震の教訓や国のガイドラインを踏まえて、女性や子どもに配慮したマニュアル作成に取り組んでいく。

子どもの脳を守るために

問 WHOがゲーム障害を疾病と認定した。特に子どもへの影響は深刻である。ゲーム依存者の実態を把握しているのか。また対策はどうか。



答 実態は把握できていないが、国のデータからネットやゲーム依存者は市内にも多数存在すると思われる。児童生徒には、市P連が中心となり、スマホの使用のルールを夜9時までと定めている。

問 市独自のルールづくりや社会全体への啓発が大切ではないか。

答 これまでも市民講座や家庭教育学級で啓発に取り組んできた。深刻な社会問題であり対策を考えていきたい。



整備中の町の下2号線

その他の質問

・芸術文化活動について
・観光と観光PRについて